○第83回農薬専門調査会幹事会（公開）

日時：平成24年6月1日（金）14：00～17：10

議事概要：

（1）農薬の食品健康影響評価について

①ジカンバ

・審議の結果、評価第三部会で再度調査審議することとなった。

* 除草剤で、芝、草地等に使用します。大麦、大豆へのインポートトレランス設定要請及びインポートトレランスに基づき、大麦及び大豆を対象にした飼料中の残留基準の設定要請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準、飼料中の残留基準が設定されています。

②フルオピラム

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.012mg/kg体重/日とするが、評価書（案）の書きぶりについて一部修正し次回幹事会で再確認することとなった。

* 殺菌剤で、今回、なし、もも、ネクタリン、すもも、おうとう及びぶどうへの新規登録申請がされています。

③フルミオキサジン

・審議の結果、評価第三部会で再度調査審議することとなった。

* 除草剤で、だいず、りんご等に使用します。今回、えだまめへの適用拡大申請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

④アミスルブロム

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.1mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 殺菌剤で、トマト、てんさい、キャベツ等に使用します。今回、稲、かぶ、カリフラワー、たまねぎ、ねぎ、かぼちゃ、すいか、しょうが、いちじくへの適用拡大申請がされています。

（2）農薬（エポキシコナゾール）の食品健康影響評価について調査審議する評価部会の指定について

①エポキシコナゾール

- ・評価第一部会において調査審議することとなったことが報告され、了承された。
- * 殺菌剤で、日本国内での農薬登録はありません。今回、小麦、大麦、だいず等へのインポートトレランス申請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。

(3) その他

- ・平成 23 年度食品安全確保総合調査（海外のリスク評価機関におけるガイドライン等に関する調査）について、調査事業者より報告があった。